

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2021年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2 感染症対策に関して

- ① 競技中・ウォーミングアップ中以外は、マスクを着用すること。
- ② 手洗い・手指消毒の徹底。(各チームで準備してください)
- ③ 集団での応援、声を出しての応援は禁止。(拍手での応援)
- ④ 体調チェックシートの提出(提出のない場合は出場できません)
- ⑤ 無観客での大会とする。(ライブ配信あり。三重陸協 HP 確認)
2日目、3日とも学校受付をすること。IDカードの確認

3 ウォーミングアップについて

- ① ウォーミングアップは、下記の通り係員の指示によって行なう。

(ア) 本競技場においては次の通りとする。

	開門時間	練習時間
第1日	7時30分	7時40分～9時30分
第2日	7時30分	7時40分～9時30分
第3日	7時30分	7時40分～9時00分

(イ) 補助競技場においては次の通りとする。

	開門時間	練習時間
第1日	7時30分	7時40分～17時00分
第2日	7時30分	7時40分～17時00分
第3日	7時30分	7時40分～15時00分

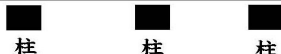
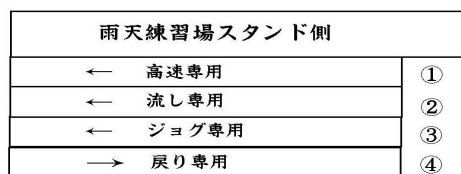
使用場所・器具については次の通りとする。

- ・トラック(スターティングブロック・ハードル)及び、走幅跳ピット・走高跳ピットとする。
- ・トラックの使用レーンは次の通りとする。
 - 1・2レーン………中長距離
 - 3～6レーン………短距離
 - 7・8レーン………ハードル

※補助競技場の利用については、IDカードもしくはアスリートビス(ナンバーカード)を提示すること。

(ウ) 投てき練習(補助競技場・投てき場)は、使用不可。

(エ) 雨天練習場(バックスタンド下)の使用については下記の通りとする。



柱 柱 柱

オールウェザー部分をベンチに使用する事を禁ずる

※いずれの練習場所においても、安全に留意し、事故を起さないようくれぐれも注意すること。
特に、第4コーナーと直走路の交わるあたり、及び雨天練習場での練習は十分に気をつけること。

4 招集について

- ① 招集所は第1ゲート外側（ゴール外側）に設ける。
- ② 招集所手前に各県の選手受付を設けるので健康チェックシートを提出し、検温を受けてから招集所に行くこと。
- ③ 招集は本人が行ない、招集完了時刻に遅れた者は棄権したものとして処理する。
- ④ 競技者は、携帯電話・電子機器類等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑤ 各種目とも競技者の集合が完了後、係員の誘導で直ちに入場するのでその場を離れないこと。
- ⑥ 招集所から各競技場所へ移動する時は係員の指示に従い、高校生競技者としての自覚をもち、規律ある行動をとること。
- ⑦ 招集時間は次の通りとする。

		招集開始		招集完了	
トラックの部		競技開始	20分前	競技開始	10分前
フィールドの部	棒高跳	〃	70分前	〃	60分前
	走高跳 走幅跳・三段跳	〃	40分前	〃	30分前
	砲丸投	〃	35分前	〃	25分前
	円盤・ハンマー ヤリ	〃	40分前	〃	30分前
混成競技		第1日目・2日目とも第1種目は招集所で招集を受けること。 （待機場所として女子は女子更衣室、男子は男子更衣室とする。） 第1種目がトラック種目は20分前から10分前、フィールド種目は40分前から30分前とする。 それ以降は現地で招集を受けること。 （女子200m・800m、男子400m・1500mの腰ナンバーカードは現地で配布する。）			

5 競技について

- ① 各県の総監督・男女監督以外はグラウンド内への出入りを禁止する。
- ② スタート合図（音）は、電子音で行う。
- ③ スタート時の不適切行為にはイエローカードを提示する。2枚目のイエローカード提示で失格となる。（この場合の失格は、当該競技のみとする）国内適用
- ④ トラック競技は全て、1/1000秒で計時する。
- ⑤ トラック種目予選の800mまでのプラス進出者は、各組3着の同着を優先する。但し、準決勝進出者が14名に満たない場合は4着の内から上位記録者を準決勝に進出させる。その他、準決勝・決勝への進出時に同順位・同タイムが出た場合は、抽選により決定する。
- ⑥ 4×400mRは3組2着+2で行ない、プラス2は各組3・4着のうち上位2チームとする。着差がない場合には代表者の抽選によりプラスのチームを決定する。
- ⑦ 短距離種目では安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- ⑧ 4×100mRの第2・3・4走者は主催者が用意するマーカーを使用することとするが、各チームで用意したテープを使用してもよい。（大きさは50mm×400mm以内とする）ただし、マークは1カ所のみとする。（使用後は持ち帰ること）

- ⑨ リレーのオーダー用紙は、予選については招集完了時刻1時間前までに1部を競技者係（招集所）へ提出すること。また、準決勝・決勝については招集開始時刻までに競技者係に提出すること。
（オーダー提出後の変更は、提出完了時間前であっても認められない）
- ⑩ 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。（但し、天候などの状況により変更する場合もある）

		練習	競技開始					
走高跳	男子	1 m70・90	1 m80	1 m85	1 m90	1 m95	1 m98	以降 3 cm
	女子	1 m45・55	1 m50	1 m55	1 m58	1 m61	1 m64	
棒高跳	男子	3 m90 4 m30 4 m60	4 m00	4 m20	4 m30	4 m40	4 m50	以降 10 c m
	女子	2 m40 2 m90 3 m40	2 m60	2 m70	2 m80	2 m90	3 m00	以降 10 c m
混成競技	男子	1 m40・65	1 m45～80 までは 5 c m 刻み					以降 3 cm
	女子	1 m20・45	1 m25～45 までは 5 c m 刻み					以降 3 cm

- ⑪ 第1位か第6位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。
- ⑫ フィールド競技の計測は、全ての有効試技を計測する。
- ⑬ 助走のマークは主催者が準備したものを使用すること（走高跳を除く）
- ⑭ 競技者への助力は禁止する。スタンド内に設けられたコーチエリアからの助言については認めるが、競技運営ならびに他の競技の妨げにならないこと。競技役員の指示に従うこと。
- ⑮ 抗議は、日本陸上競技連盟競技規則 TR8 にもとづき、各県監督が所定の手続きをとること。
- ⑯ 予選におけるトラック競技の走路順、並びに跳躍・投擲競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で示す。
- ⑰ 日本陸上競技連盟競技規則 TR5 を適用する。規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。
- ⑱ 4月14日付の日本陸連発出の文書「陸連21発第5-2号」に基づき、本大会はフィールド競技用シューズのTR5.5を適用せず実施する。記録は国内の公認記録として認められる。
- ⑲ 三段跳の踏切板は男子12m、女子10mとする。

6 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ① アスリートビブス（ナンバーカード）は、胸・背部に縫い付けること。（安全ピンを使用してもよい）
跳躍競技はどちらか一方でもよい
- ② トラック競技出場者と4×1000mRの第4走者は、招集時にレーンナンバーによる腰ナンバーカードを貸与（2枚）するので、ランニングパンツの左右やや後方に数字が明確に読めるように着用すること。競技終了後返却のこと。
- ③ 4×400mRに出場する選手には招集時にレーンナンバーの胸背・腰ナンバーカードを貸与するので数字が明確に読めるように着用すること。競技終了後返却のこと。
- ④ 5000m 競歩においてレーンナンバーカードを貸与するので、胸背・腰（左右）に着用し、競技終了後返却のこと。

7 競技用器具について

- ① 競技に使用する器具類は主催者が用意した器具を使用する。但し、棒高跳び用ポールおよび、やりは個人所有の器具を、検査を受けて使用することができる。
- ② 検査（やり）は競技開始1時間30分前から招集開始時刻までにTICに提出する。検査に合格し借り上げた器具は、競技場設置のものとして使用する。なお、返却は競技終了後、TICでおこなう。

検査は1人2本までとし検査を受けるヤリは、一覧表に無いものに限る

③ 棒高跳のポール検査は現地で行なう。

8 商標名等のついた物品について。

競技者は競技場内・練習場内に規定にあったもの以外は持ちこんではならない。
(競技会における広告および展示物に関する規定)

9 開始式について(本年度は優勝旗の返還のみ行なう)

第1日目の9時30分より行なう。参加者は各県陸協理事長・各県高体連陸上競技部専門委員長と、前年度男・女 総合優勝校の代表者とする。

10 競技方法について

① 学校対抗とする。なお県対抗を兼ねる。

② 種目別得点は、1位6点・2位5点……6位1点とする。

③ 男女別合計得点によって学校順位を決定する。同点の場合は、上位入賞者数によって順位を決定する。

11 表彰について

① 学校対抗男女別優勝校には優勝旗を、1～6位までには賞状を授与する。

② トラック競技の部1～3位、フィールド競技の部1～3位には賞状を授与する。

③ 個人種目別優勝者にはメダルを、1～6位までには賞状を授与する。

④ 決勝終了後、入賞者は表彰室で待機し、役員からの指示を受けること。なお、東海高校記録樹立のときには、部旗を掲揚してその栄誉を讃えるので、成績発表後直ちに本部へ持参すること。

12 全国大会への参加について

全国大会出場資格は、東海地区大会で6位までの入賞者。但し、男女走高跳、男子棒高跳は6位(6名)。競歩競技、女子三段跳、女子ハンマー投は4位までの入賞者。女子棒高跳は4位(4名)。混成競技は3位および、4～6位までの選手を全国で集約し、上位記録5名に出場資格が与えられる。

13 撮影について

選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影については禁止とさせていただきます。
ご理解とご協力をお願いします。

14 その他

① 各校の部旗・のぼり・横断幕などはバックスタンド中段より上または、サイドスタンド上部の手すりのみとする。必ず紐で止めること。競技終了後は手すりにくくりつけておくこと
(ガムテープ・テーピング等は絶対に使用しないこと。また、必ず毎日取り外すこと。)

② 声を出しての応援は禁止とする。

③ 男女の更衣室を使用してもよいが、貴重品の管理は各自責任を持って行なうこと。また更衣室のロッカーを使用してもよいが、カギは必ず毎日返却をすること。(更衣室内にシートを敷いたり、荷物を置いたままにしないこと。)

利用する際は、TICにてIDカード提示すること。

④ 各校の待機場所は、各県で決められた場所及びスタンドを使用すること。

(メインスタンド外側(駐車場側)の通路(建物と柱の間)は使用しないこと。)

⑤ 競技中に発生した傷害や疾病については、医務室で応急処置を行なうが、以後の責任は負わない。

⑥ 各校で出したゴミは、責任をもって持ち帰ること。

⑦ 競技終了後ただちにボランティアによる清掃活動に入るので、ミーティング等は競技場の外で行なうこと。

⑧ ゴールスタンド下に医務室を設ける。(本年度、トレーナー活動はありません)

⑨ 前日練習(17日)は13:00～16:30までとし、跳躍は補助競技場で、トラック種目は本競技場でできることとする。投てき練習は禁止する。